THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUBS

THE Y'S MEN'S CLUB OF
OSAKA NAKANOSHIMA
Y'S WOMEN

大阪なかのしまワイズウィメンズクラブ

"To acknowledge the duty that accompanies every right"
「強い義務感をもとう、義務はすべての権利に伴う」

C/O OSAKA YMCA, 1-5-6, Tosabori, Nishi-ku, Osaka 550-0012 Japan

MOTTOES (2020-2021)
国際会長主題：“VALUES,EXTENSION and LEADERSHIP”「価値観、エクステンション、リーダーシップ」
アジア会長主題：“Make a difference”「変化をもたらそう」
西日本区理事主題：“Let's do it now!” 「2022 に向け誇りを持って All is well」
中西部部長主題：「ワイズの力を信じて、自ら行動しよう」
クラブ会長主題：「一隅を照らす」

Monthly Bulletin
第 282 号
2020 年 7 月

聖書のことば
・・・わたしたちは知っているのです、苦難は忍耐を、忍耐は練達を、練達は希望を生むということを。希望はわたしたちを欺くことがありません。・・・
ローマの信徒への手紙５章３－５節
選者　古谷　佳之

選者の言葉
新型コロナウイルスの影響で大阪 YMCA の各部門も大変厳しい状況となっています。ただ、この状態であっても常に神様が傍に居て、常に見守って下さっているという気持ちを忘れず、希望をもって日々一生懸命取り組んでいます。

７月第１例会は休会です

７月第２例会は以下のように開催されます。
日時：７月 15 日（水）18:30 ～
場所：大阪 YMCA
内容：担当主事入会式
会長交替式 など

６　月　統　計

第 1、第２例会共中止につき、計測不能

新会長抱負

「一隅を照らす」

桑原　頼子

今期の会長主題を「一隅を照らす」としました。ご存知のように天台宗　最澄の『一隅を照らす、これ則ち国宝なり』の言葉です。たとえ注目されなくても、自分が置かれた場所でベストを尽くすことが大切。

昨年、ペシャワール会の中村哲さんが襲撃され亡くなられました。皆さんご存知のことで、中村さんの座右の銘でもあります。我々にはあのような力はありませんし、たとえ一隅を照らせなくても出来ることをしたい、と思います。これは、なかのしまクラブの皆が心していることでしょう。

そして今、新型コロナウイルスのために前年度３月からの活動が停止してしまいました。今年度の活動はどうすればいいのか、自粛が解除されたとはいえ、コロナウイルスは存在しており、だれでもがワクチンを接種できるようになるまでは安心して外出は出来ません。

夜に食事を伴う例会は３密そのものですし、メンバーのほとんどは高齢者です。京阪神３地域から大阪の真ん中に集まる「なかのしま」にとって、クラスターのもとになりうる例会を保つのは難しいことです。

今期１年間、第１例会を中止することを決断しました。

活動予定、例会プログラムなどの予定していたことのうち出来ることは少なくなりましたが、この１年間、自粛をしながら出来る事を考え、タレントが発揮できる次の年度に備え・蓄える期間としたいと思います。

世の中全体はもとより、各々の生活環境が変化しています。今までと同じようにとはいきませんが、前を向いて、健康第一で、自粛生活を楽しむ工夫を凝らしてください。

外出自粛をしているとは言え、お化粧もして（たまにはお化粧をしないと忘れてしまいますよね）綺麗キレイを保ってご自身も照らしてください。今度会う時のために。

新しい年度に向けて！

新年度が始まりました！今年はいつもとは少し違う年になりそうですが，我がクラブの３人の事業委員長さんに書いて頂きました。ちょっと戸惑いながらも，新年度への思いを！

Ｙサ・ユース事業委員長　*山佐亜津子*

なかのしまクラブは毎年大阪ＹＭＣＡ全体行事であるチャリティランや、土佐堀地域活動のサマーセミナー、カーニバル、クリスマス・コンサートへの積極的な参画を続けてきました。そしてここ数年は、中西部として六甲山ＹＭＣＡの施設清掃を留学生を巻き込んで行なったり、日本語学校の文化体験の協力など、ＹＭＣＡ事業部の中では特に日本語学校・専門学校の留学生との関わりが少し増えてきています。その理由としては、ひとつは担当スタッフである大橋さんが日本語の担当となったこと、またこれまで留学生を支援してこられたクラブの事情が変わったことによります。これらはいずれもなかのしまの意図や計画とは異なる外的な要因です。

今年度は感染症によって誰もが非日常の中で始まり、今後もしばらく続くと見られています。単身で来日している留学生にとっては、社会活動の自粛は生活費や学費という現実的な問題だけではありません。人との交流の制限によって陥る孤独や不安は、日本に生活基盤や人間関係が根付いている日本人や長期滞在の就労者以上に、留学生にとって大きいことは想像に難くありません。

たまたま数年前に外的な要因によって与えられた留学生との交流の機会でしたが、2020年度はＹサ・ユース委員の「日本語学校、専門学校学生のために何かしなくてはならない」という使命感を、クラブの内的な動機付けによって、行動に移してゆきたいと願っています。新しく担当スタッフとして仲間になられた日本語学校学科長の古谷さん、そして以前留学生事業部を15年間担当した山佐から発信してまいります。なかのしまメンバーにとって、心身ともに元気に、楽しく、豊かな想いを持って活動できるよう推進してゆきたいと願います。

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

地域奉仕・環境事業委員長　*鳥居　翠*

これほど世界中で人間を取り巻く環境が激変したことを、半世紀生きた私は驚きと戸惑いで見ているしかありませんでした。自分だけではない、誰のせいでもない未知のウィルスとの遭遇・・・そこから始まり生活環境・経済環境の劇的な変化。

毎日毎日、ニュースを見ては憂鬱な気分になり国の発表を聞いては疑心暗鬼になり自分の中の精神環境までもがおかしくなりそうでした。１か月２か月と日がたつにつれて不安や不信はいつか『あきらめ』にまでなりつつありました。

その中で、大阪のランドマークが信号のようにライトアップされるというニュースを聞き、毎日何色になっているのかというのが楽しみになっていました。いよいよ、緑色に点灯されるというのが発表された日、万博年うまれの私はいてもたってもいられなくなり車で万博公園まで走りました。グリーンにライトアップされた太陽の塔を目の前にしたとき、思わず泣いてしまいました。

人というのは、どんなに辛くてもしんどくても何か一つでも幸せなことがあるとそれで元気になれるものだと今回のコロナ禍を通じて感じました。地域奉仕・環境事業も同じことではないのかな？と思います。何か大きなことをしなくてはいけないということではなく、自分たちでできること、困っていることや困っている人に寄り添い小さな幸せを共有していけたらいいなと思います

これが、私の新しい期に向けての思いです。

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

プログラム委員長　*和田　早苗*

2020 - 2021 年のプログラム委員として書くのですが、さて何時から例会が開け、また何回出来るかがわからないこの状況。恐らく皆さんも案じておられることと思います。私は、まだこのクラブ２年生ですので、年間の計画をきっちり立てて準備をしてこられた「なかのしまクラブ」をよく知りたいと思い、プログラム委員に手を上げました。以前、私は他クラブで４度目の会長をしました時に、「なかのしま方式」を真似て(話には聞いていましたので)、年度スタート前に一年間の例会内容予定を決めて準備例会をしました。確かに役員会（第二例会）において、「来月の例会はどうしよう？講師はだれに？」ということなく、既に決まっていることに向け無駄なく話し合えるという経験をしましたので、その事を実践的に体験してみたいと思います。

桑原次期会長の最初の意向によれば、各月の例会は中西部内のみならず、他部内のワイズメンの卓話を中心として開催し、ワイズメンズクラブを広く知ろうと言う計画でしたが、今は状況が全く変わってしまいました。そんな中で、みんなの気持ちを高く保ちながら，どのようにクラブ内の集まりを持っていくか、またその準備にどんな工夫をするか、楽しく有意義な例会を持てるように考えていく所存です。

私がワイズを知った時　【1】

それぞれワイズに出会った時期、きっかけは違うと思います。ワイズのこと知ったのはこんなきっかけ、こんな時だった・・。それを語り合えたらEMCのヒントにもなるかも。

生雲　文枝

緊急事態宣言が解除された日、近くの靭公園まで散歩しました。公園には薔薇の花が咲き乱れ，その傍らで異国の少女たちが髪をなびかせ、ダンスの練習をしていました。ベンチにすわって楽器の演奏をしている人もいます。コロナ惨禍にあっても、季節は静かに歩みを進めています。

さて本題に移ります。私がワイズメンズクラブに入ったのは会社の上司の勧めからです。芦屋クラブの桑野友子さんが私のスポンサーであり、会社の上司だった方です。桑野さんには公私共々、大変お世話になり、断る理由がありませんでした。娘が東京の会社に就職し、私に自由になる時間ができたので、ワイズを紹介してくださったのだと思います。

それまで、YMCA は従姉が京都三条の YMCA で英会話の講師をしていた、娘が西船場小学校に通っていた時、土佐堀 YMCA の夏季講座に行っていたなどがあって以前から知っていました。その当時、従姉の家に行くと YMCA 活動の話を聞かされ、いろいろな献金のお願いをされた記憶があります。でもワイズメンズクラブのことは全く知りませんでした。

私にワイズメンズクラブの入会を決心させたのは、杉浦眞喜子さんの「ワイズに入るといいお友達が出来るのよ」という言葉でした。入会式を行ったのは 2000 年、入会証には桑野会長と國友書記のサインがあります。皆さん、入会証には会長と書記のサインがありますよ。確かめて下さいね。

このようにしてワイズに入会したのですが、入会して 1 年経つか経たない内に父が亡くなり、私は母の介護と会社務めに追われて、その後、長い間、休眠状態に入ってしまいました。仕事と介護で体はくたくた、いつ辞めてもおかしくない状態でした。辞めなかったのはクラブの皆さんの暖かい励ましがあったからだと思っています。悩んでいた時、大岸弘子さんが「辞めないでね、仲良く、兄弟姉妹のように過ごしましょう」と言ってくださったのがとてもうれしかったことを覚えています。

私が行った国際大会、アジア大会
第 60 回国際大会（オスロ）

杉浦眞喜子

1992 年 7/29 - 8/1、ノールウェー /オスロで開催された第 60 回国際大会に参加、山田と結婚した翌年、二人とも初めての国際大会でした。大会後ノールウェー北部までの観光のついたツアー旅行を選びましたが、東京から 6 名、熊本から 4 名、関西からは我々2 人だけの全部で 12 名。成田で同行のメンバーと初めての顔合わせ、全く知った顔はなく、わーっ、心細いと。でもその後の 10 日余りの旅行で、すっかり打ち解けて、現在に至るまで仲良しとなるワイズ仲間を何人も得ることが出来ました。

何しろ初めての国際大会、鈴木謙介さんご夫妻（お二人は別のツアーでしたが、現地ではご一緒することが多かったです）にいろいろ教えて頂いての参加でした。大会中、謙介さんはたくさんの偉い方々に我々を紹介して下さったのですが、二人ともちゃんと記憶、記録していなくて••。後々「あゝあの人確か・・？」とか、「そう言えばお名刺もらっていたっけ」とか。謙介さんにとっては何とも「連れ歩きがい」のない二人でした。

大会には開会式と閉会式以外、あんまりちゃんと参加していなかったような。一つだけ、1 日目の夜市内の教会で礼拝があり、それに International Choir を募っていて、夕方少しだけ練習もあったのですが、それに二人とも怖いもの知らずで参加、英語だけでなく多分ノールウェー語の訳のわからない讃美歌を歌ったのを覚えています。

日本からの参加者はかなりいたようですが、その頃私はクラブ外の方とはあまり交流がなかったので、知らない方ばかり、でも一緒のツアーの方たちだけでなく、この大会で知り合った方とは、その後年賀状のやり取りや、会えばやあやあと言い合える仲となった方がたくさんいます。

オスロ郊外の「ジャンプ台」，ツアー仲間と。みんな若い！

YMCA ニュース

★第 327 回早天祈祷会
日時…2020 年 7 月 17 日（金）7:30 ～ 8:15
※朝食会は実施しません。
場所…大阪 YMCA 会館　10 階チャペル
奨励…辻 マリア さん
（ホーリーバイブルチャーチ伝道師）

★ユースリーダー安全支援金ご協力のお願い
大阪 YMCA では、YMCA 運動を支え発展させていく担い手であるユースボランティアリーダーの安全と研鑽のために、研修などに用いられる募金を行っています。みなさまのご協力をお願いいたします。
【募金方法】　一口　1,000 円
【募金期間】　7 月 18 日（木）～9 月 30 日（水）
【受付窓口】　各 YMCA、大阪 YMCA 統括本部
（06-6441-0894）
【その他】クレジットのご利用も可能です。以下 URL からお願いいたします。
https://kifu.fm/osakaymca/form.php

５月ニコニコメッセージ

－「こんな毎日を過ごしています」－

☆ 一時、歩いて事務所に行けないかと考えて、淀川大橋を渡ったりしましたが、娘にそんな無謀なことは止めてと言われ、断念しました。最近は週３回、地下鉄で通勤しています。テレワークになれ、体の調子が戻っておらず、今では歩いて通う元気は全くありません。（生雲）

☆ 人は毎日することがあるから元気が出る。行くところがあるからおしゃれもする。総てを失った私は，最近コロナウイルスになりかけている。やっと６月から 100 才体操の再開で会員が顔を合わせた。90 才余の人から 20 人ぐらい，椅子を使っての“軽いたいそう”です。友人と会い，嬉しい出来事であった。（今井）

☆ ステイホームにムズムズして、昔入っていた合唱団に復帰しました。夫は市の広報を見て「男の料理教室」に申しこみました。（江見）

☆ 私は日本の先進医療の恩恵をたっぷりうけて療養していますが、ミャンマーの無料診療所のドクターや患者さんたちはどうなさっているのでしょう。自分の治療がコロナによって遅れたりしないでほしいと願うのは本当にSelfishだと考えさせられます・・・・。（國友）

☆ 自粛は変わらずですが、暑くなったのでウォーキングに行かなくなりました。怠け心が増長され、すべきことは最低限、しなくてもいいようなことをして、退屈することもなく機嫌よく暮らしています。（桑原）

☆ いろいろな自粛が解除されるにつれて、TV で映される人出の多さにちょっと恐ろしさを感じていますが、そう言う私もこのところいろいろとするべきことが増え（元に戻って？）、バタバタ忙しくしています。ゆっくり本を読んだり、TV を見ていたあの頃が懐かしい！（杉浦）

☆ とってもヒマにしています。教会が始まったので，ちょっとみんなと会えて嬉しいです。（瀬島）

☆ 久しぶりに礼拝に出席し、身も心も軽くなりルンルンなわたし！その夜美帆が38.5度の発熱、えっコロナに感染！コロナなのコロナなのと、大騒ぎ！翌日は平熱に下がりほっとしました。原因は一日中マスクしていたため脱水症でした。（武井）

☆ 教会が再開されました。教会にいけて嬉しかったです。（美帆）

☆ なかなか日常に戻るのに時間がかかっています。私自身はマスクをしないで出そうになったりと緩んでいます。(笑)仕事のことで役所に行かないといけないことが多いのですが、めちゃくちゃ人が多くて『密です！！』とどこぞの都知事のように叫びたくなる毎日です。（鳥居）

☆ 緊急事態宣言で４月７日から５月１６日まで、テニスができませんでした。その間しんどくて、走れなくて。散歩して歩いていました。解除になり５月１９日から待ちに待ったテニスが出来るようになり、皆さんと楽しく、テニス出来ること、とてもうれしいです。（藤井）

☆ 自粛生活で、家をきれいに片付ける方が多いそうですが、私はだらだらとＴＶと読書にはまっています。部屋の中はぐちゃぐちゃで、外出しないのでお化粧もせず、変な格好で過ごしています。皆様にお会いできる日までには、頭も姿もしっかりします！できるかなぁ？（藤好）

☆ 私が担当する専門学校は6月1日から通常の対面授業が始まりました。先生と学生用のフェイスシールドや消毒液、教室用の空気清浄機などの準備に追われ、なかなか大変でしたが、やはり学生の顔が見られるのは嬉しいものです。仕事も日常生活も「新しい生活様式」でのスタートです。（古谷）

☆ 1月にスマホにかえたおかげで引きこもり中もいろんな方とラインでおしゃべりしたり、面白い動画がおくられてきたり、これは退屈しないぞ、いいもんができたとおもいました。時代は進化！トシはとっても年寄りにはならないぞ！！と少々無理しています。と、だいぶ無理している毎日です。（保田）

☆ 今年の梅雨は、いつにも増して蒸し暑さ、息苦しさを感じてしまうのは、マスクや自粛の閉塞感のせいかしらと思いつつ、自らに鞭打って、ひたすらＹで仕事に勤しんでいます。（山佐）

☆ またまた今月も例会のない月となり、４カ月間クラブのメンバーと逢っていません。私は相変わらずスーパーマーケットに出掛けるだけの日々が続いています。私の好きなプロ野球をはじめスポーツも自粛でテレビ放映もなく、コロナウイルスにいかに感染しないか日々心配しています。（吉岡）

☆ １ 週間のうち半分はワイズのリモート会議、残り半分は仕事のリモート会議。生の人間に会いたいと切望していましたが､６月に入って千里クラブ(通常)、茨木クラブ(通常)、京都トゥービークラブ(zoom)の例会に参加し、久しぶりにワイズソングを歌いました。嬉しかった！（吉田）

☆ コロナが下火になっても、まだきっちりマスクをしています。コンビニでも買えるようになったので、何通りか買いました。私は汗かきです。マスクまでびっしょり濡れてしまうことがわかりました。真夏が思いやられます。これからに備えて買っておきました。自粛中は出かけないのでそんなに必要ではないのですが、人の心理、ある時に・・となりますね（笑）（和田）

＝ お知らせ＝

◎ 東京江東クラブ 藤井寛敏メンよりブリテン送付用として献金を頂きました。　　感謝です。

編　集　後　記

新しい年度最初のブリテンですが，今回も「字」ばかりの紙面になってしまいました。ごめんなさい！

今年度から，このブリテン，紙媒体での配布は限定的とし，ほとんどの方へは PDF ファイルとして送らせて頂くことになりました。でも引き続きご愛読頂けたら嬉しいです。